

令和4年度 グーフィークラブ事業報告

1. 概要

①運営報告

- 家庭に変わる放課後の生活の場を確保し、利用者数が少ない分、個々への関わりを大切にして、子ども主体の活動を行う中で子ども一人ひとりの資質、能力を育みました。
- 園の近隣の小学校に通う子どもの減少等により下校後の利用者は少なく、学校長期休みの利用希望者が多くそのニーズに添えるよう努めました。
今後出来る限りその時々のご家庭のニーズに添えるように耳を傾けていきたいと思えます。
- 同園内年長児との交流会を定期的に行い、園児の就学に対する意識づけのサポートをする役割を担いました。
- 複数担任で活動の幅を広げ、戸外遊びを多く取り入れました。
引き続き次年度も複数の大学院生や大学生に入ってもらうことで活動の充実を図りたいと考えています。
- 卒園児で学校不登校児の居場所作りに取り組み、生活リズムの改善と学習面でのサポートを行いました。なかなか改善には至りませんでした。保護者の支援に応じることはできたと思えます

②定員 20名

必要に応じてスポット利用や学校の長期休みに利用したいなど保護者の要望に耳を傾けながら可能な限りの受け入れを行いました

③事業日数 293日 (日曜、祝日、12/30～1/4は休園)

④開所時間

平日 7:00～19:00 (7:00～8:30・18:00～19:00は延長)

土曜 7:00～18:30 (7:00～8:30・18:00～18:30は延長)

⑤職員数 指導員 1名 (保育士資格有) アルバイト職員 1名 (大学院生)

2. 事業運営

①教育理念

- 放課後の生活を安全に守り、基本的な生活習慣の指導や学習の習慣づけの援助を行う
- 子ども同士共同しながら生きる力を育む

②教育方針

1. 生活の流れを把握し、リーダーを中心に子ども主体の活動を行いコミュニケーション力をつける
1. 正しい生活習慣を定着させる
1. 他律から自律へと成長していく過程を援助する
1. 個々の存在を認める

③学年別目標

1、2年生

- 大事なことを聞く力、話題に沿って話し合う態度を身につける
- 集団の一員として自分の役割について気づき、適切な行動ができるようにする

3、4年生

- 筋道を立てて話す力、聞く力、話し合う力を身に着ける
- 目的を持って仲間とともにやり遂げる力を育む

④職員配置 学童保育指導員 1名（保育士資格有）

アルバイト職員 1名（小学校教員資格有）春・夏・冬休みに勤務

⑤活動内容

- 子どもが自主的に学習に取り組めるように習慣づけ、学校の宿題を中心に学習指導を行い、学習面で気になる子は保護者にも伝え双方で支えていくよう努めました。
- 放課後の利用者は少人数ということもあり、子ども主体で遊びを作り上げ、協力し合い、発展させながらコミュニケーション力を育む活動を行う事が出来ました。
- 春・夏・冬休みは児童数も増え、アルバイト職員が入ることで戸外遊びを多く取り入れ、思いきり身体を動かすことで（ドッジボール、キックベースなど）遊びの充実を図りました。
- 季節行事は由来など日本や外国の伝統や文化、風習などを深く知ること、製作や園内行事も意欲的に取り組みました。
- 乳幼児クラスの手伝いや園行事の準備や後片付けの手伝いを行う中で存在を認められることが自信となり自己肯定感を高めることが出来ました。
- 保小連携（当園の年長児との交流）
交流を通して年長児が安心して学校生活を身近な事として捉えることが出来るようになると共に、グーフィークラブの子どもたちも自分の成長に気づき、自信に繋がるような運動遊びや製作での交流活動を行う中で、相手を思いやる心や気遣いも育ってきています。
夏にはすいか割りやキャンプファイヤーも園行事も一緒に楽しむことが出来ました。

⑥家庭との連携

- 毎月、活動内容を報告する「おたより」を配布し、グーフィー内の活動の様子を伝えました。
- 連絡帳、お迎え時などを通し、子どもの活動や様子を伝えるとともに、気になる事に関しては随時面談を行い保護者と共有するようになりました。

⑦人材育成

- 園内研修・園外研修・Web研修に参加し、職員の資質向上及び専門性の向上を図りました。

⑧地域貢献

- 園庭開放の受付の手伝い、出張保育では地域のことに一緒に遊ぶことで参加者に喜んでいただきました。
- 春・夏・冬休みの朝は瓢箪山公園の清掃を行うと共に、ポスターも描いて公園内に貼り、公園内の美化に努めました。

⑨健康・安全

- 子どもの表情や様子の把握、異変時に注意を払い、小さな事であっても保護者に直接連絡を取り子どもたちの状況を共有するよう努めました。
- 保護者、学校、地域と連携をとり、登下校時の安全確保、警報発令時や急な学校（学級）閉鎖などの際は保護者、学校と連携し子どもの所在確認と安全確保を行いました。

⑩苦情解決

- 「苦情申し出窓口」（指導員が受付担当者）、「御意見箱」を玄関に設置していますが今年度は学童クラブに関しての苦情はありませんでした。

⑪リスクマネジメント

- 学校から園までの帰り道で不審者や危険を感じるような問題は起こりませんでした。
- 子ども同士のトラブルや危険行為などに関しては、その都度なぜ危険なのかを考えたり、改善方法を当事者同士やクラス全体で話し合いを行いました。